

LPガスCP情報(2014年7月積み)

1. 7月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **820** ^{ドル} (前月比 -15 ^{ドル})
ブタン **840** ^{ドル} (前月比 +5 ^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、不需要期でフレートの急反騰もあって市場は閑散とした状況だったが、原油急騰を受けて、市況は第2週以降堅調に推移、プロパンは軟化したもののブタンは石化需要が散見されトレーダーが下支えた。CP先物は第2週に反騰、プロパンは第3~4週に続落したが、ブタンは石化需要で続騰となり、ブタン高プロパン安が顕著となった。なお、期先は8月限~12月限までコンタンゴ(期先高)に転じた。フレート市況は船舶需給が逼迫し大幅続騰、129 ^{ドル}に達した。ナフサは原油高と石化・ガソリン需要増で990 ^{ドル}まで上げており、ブタンを下支え。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン3ポイント、ブタン1ポイントの下落、前年同月比ではプロパン3、ブタン1ポイント低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	106	115	129	129	120
CP先物指標：P	805	843	830	827	826
CP先物指標：B	800	832	849	857	834

② 原油市況等

原油市況をみると、6月WTIは102. ^{ドル}台後半で始まったが、ウクライナ情勢に加えイラクでイスラム過激派(スンニ派「イラク・シリアのイスラム国」)が北西部から首都バグダッドに向け侵攻、宗派・民族絡んだ混沌とした状況により原油市況は急騰した。第3週末にはイラク最大のパイジ製油所で戦闘があり原油市況は軒並み昨年9月以来の高水準となった。一方、米原油生産量は1986年10月以来の高水準が続き輸入は減少したものの全米原油在庫は高水準、9週連続で減少したクッシング在庫も増かに転じた。原油先物市場は投機資金が再び流入、総取組高は174.5万枚、24日時点の大口投機玉の買い越しは45.9万枚と過去最高を更新した。

○6月積みアラビアンライト(6月1~27日)は109.64 ^{ドル} (前月比+2.06 ^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン 898.91 ^{ドル}/トン ブタン 886.58 ^{ドル}/トン

AL比 プロパン 91.22% ブタン 94.75%

*上記ALはE I N推計値、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2014年7~8月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	102.87	84,353	86,411	-1,600	+400
26~25日②	103.10	85,300	86,300	+700	+900
1~30日③	103.08	85,300	86,300	+700	+1,000

*TTS平均は①が6月16日~6月30日まで、②は5月26日~6月25日

③は6月1~30日、①は8月仕切への影響、②~③は7月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。